



まるやま

新潟市立丸山小学校

学校だより 3 号

令和 7 年 6 月 2 7 日

学校目標

未来につながる力

みんな かがやく

自分力 関係力 創造力



いじめ0チャレンジ

丸山小学校の教育ビジョンで掲げる 5 つのプロジェクトのうちの 1 つ「いじめ0チャレンジ」について、具体的な取組を紹介します。

1 いじめ防止基本方針の策定

すべての子どもが安心して自分らしさを発揮し、認め合い、支え合い、高め合い、温かい人間関係の中で自己実現し成長できるよう、「いじめを生まない」「いじめを見逃さない」ために組織で取り組みます。その指針となるのが「いじめ防止基本方針」です。いじめの定義や組織的対応を記したマニュアルのようなもので、全職員で共通理解をして対応に臨んでいます。学校ホームページにも掲載していますので、ご確認ください。



2 学校生活アンケートといじめアンケートの実施

年 2 回の学校生活アンケートと年 3 回のいじめアンケートを通して、子どものヘルプサインを確実にキャッチします。いじめアンケートでは、担任と子ども一人一人との教育相談を行ったり、アンケートの内容を管理職と共有し、さらなる聞き取りや対応を組織で行ったりします。

「こまっていることはないかな?」アンケート (小学校低学年)

ねん ぐみ ぼん 年暮え

4月～5月までのあいだで、あなたがこまったことについておしえてください。

1 (せふいん)

ともだちから下のようなことをされて、「いじめだなぁ」「いじめだなぁ」とおもったことがありますか。(あったら○、なかったら×)

で き こ と	○・×
からかわれたり、わる口やいやなことをいわれた。	
たとえば、「バカ」「しね」などといわれた。いやなことをつけられた。	
なからはずれや、みんなからおしなされた。	
たとえば、ひるきや、おそひのグループに入れてもらえなかった。	
かきくさつられたりたたかれたり、けられたりした。	
たとえば、いじめられっ子と、からかわれてけられたり、きかわれてけられたりした。	
ひどくきかられたりたたかれたり、けられたりした。	
たとえば、いじめられっ子と、からかわれてけられたり、きかわれてけられたりした。	
お金やものをむすめたりとられた。	
たとえば、「お宝だ」「お宝だ」といってとられて、お宝のものをとられた。	
お宝のものをとられた。	

3 日常の観察と情報収集と共有

学級担任だけでなく、多くの職員目で子どもたちを支援できるよう、学年単位での活動や交換授業、教科担任制授業などを行っています。元気がない様子や困っている様子などが見られた場合は、放課後の教務室での会話や職員集会場で情報共有したり、支援について話し合ったりします。

4 新潟市教育委員会と連携した対応

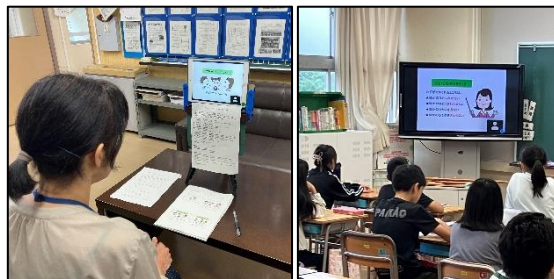
新潟市教育委員会作成の「いじめ・不登校初期対応ガイドブック」や「新潟市授業づくりサポート」、文部科学省作成の「いじめ重大事態に関するガイドライン」に基づき、いじめの早期発見や未然防止、組織対応、授業と生徒指導の一体化に取り組んでいます。また、いじめ事案について教育委員会に報告し、具体的支援策についての指導を受けながら、連携した対応を行います。

5 いじめ未然防止に向けた教育プログラムを活用した授業推進

新潟市教育委員会が作成した「いじめ未然防止に向けた教育プログラム」を活用した道徳授業や学級活動を積極的に推進しています。特に子どもたちに理解して欲しいのが、いじめの構造です。見て見ぬふりをする人、面白がって見ている人も、間接的にいじめに加担していることになります。授業を通じてその理解を浸透させていきます。4月の学習参観では保護者の方に授業公開をし、家庭と連携した取組への理解と協力を図りました。

6 オンライン集会による全校児童への指導

6月と11月は、いじめや問題行動が増える月と言われています。その時期を強調月間として、いじめをテーマにしたオンライン集会を行い、全校の意識を高める取組を行っています。6月は校長と養護教諭が、身体や生命に関わるいじめを防止するための講話や動画放映をしました。



7 いじめ見逃しゼロキャラバンの開催

本日、県はいじめ見逃しゼロ県民運動の一環として、「いじめ見逃しゼロキャラバン」を行いました。お話をしてくださったのは、シンガーソングライターのTSUNEI（ツネイ）さんです。TSUNEIさんは高校生のときに酷いいじめに遭いました。部活の友だちから陰口を叩かれたり、無視をされたり、ストレスで体に異常が出るぐらい毎日のようにいじめは続きました。今でも夢に見るぐらいだそうです。そのような自らの生々しい体験を語る1つ1つの言葉がとても重く、子どもたちは自分のことのようにその話に聞き入っていました。

でも、そんな辛い経験を乗り越える術も教えてくださいました。「自分の好きにまっすぐになる」ことです。自分のやりたいことや夢があれば、周りの目や心無い声に振り回されず、まっすぐ前だけを向いて進んで行けます。TSUNEIさんにとってはそれが「歌」だったのでしょう。丸山小の大切にしている「自分力」に関わる考え方を教えてくださいました。

いじめ見逃しゼロキャラバンを受けて、来週中には、各学級でいじめをなくすための取組について話し合ったものを玄関に掲示したり、動画にしたりして、全校でそれらを見合うことで全校のいじめ撲滅の機運をさらに高めようと考えています。



以上、丸山小学校の「いじめ0チャレンジ」の具体的な取組についてでした。「いじめは絶対に許さない」という強い気持ちをもって、これからはすべての子どもが安心して生活できる学校づくりに取り組みます。子どもたちが友だちと仲良く活動している様子も学校ホームページの「丸小ブログ」に日々アップしていますので、ぜひご覧ください。



丸小ブログ



子どもたちや大人たちの日々の教育活動を発信しています！

PC から

→<https://blog.city-niigata.ed.jp/marusyo300/>

スマートフォンから→



毎日更新!! (を目指しています)